自民党 責任政党!!

京都市会議員団ニュース

令和3年(2021)6月13日発行　No.72

■発行人／橋村芳和　■編集委員／森田守　〒604-8571 京都市中京区河原町御池　TEL.075(222) 3718～23　FAX.075(257) 3091　http://jimin-kyoto.jp/

持続可能な行財政の確立へ向けて

責任政党として、厳しくも前向きな提言!!

三位一体改革以降、地方交付税が大幅に削減され、京都市の財政状況は厳しい状態が続いていますが、さらに新型コロナウイルス感染拡大による影響で市税収入が急減し悪化に拍車がかかっています。京都市では、この現状を打開するために「京都市持続可能な行財政審議会」を設置し、外部有識者による活発な議論を経て、3月23日に京都市への答申を受理しました。それを踏まえ、令和3年度から7年度を計画期間とし、とりわけ直近の令和3年度から5年度の3年間を、危機的な状況を克服し、財政運営に道筋をつける「集中改革期間」とする行財政改革計画を策定します。自民党京都市会議員団は、計画が絵空事とならない様、総務消防委員会等において積極的に質疑・提言を行っており、計画実行に際しても、目標必達のために全力で取り組んでまいります。

京都市持続可能な行財政審議会からの主な答申

社会福祉
国基準を上回る施策を持続可能なものへと見直す必要（敬老乗車証制度・国民健康保険料の負担軽減・学童う歯対策など）がある

補助金
毎年500件、200億円規模で支出されている補助金について総点検を実施すべき

他会計繰出金
全会計連結の視点からの繰出金のあり方、特に積極的な浸水対策を進めてきたため高い水準にある公共下水道事業繰出金の一時的減額を検討すべき

公の施設等
今後、公共施設の更新が集中し、多額の経費を要する見込みであるが、総量縮減に向けた目標設定、また民間の力を用いた効率的な施設運営を検討すべき

資産の有効活用
未利用地、基金等を財源に結びつけるための積極的な活用、また施設の使用料など、なお減免が必要なのかどうか精査が必要である

投資的経費
将来世代に過度な負担を残さないため、必要性・緊急性・費用対効果・将来の市民負担を考慮し徹底的な「選択と集中」を行う必要がある

人件費・業務の効率化
平成19年度から人件費を年間270億円削減しているが、京都市職員の給与水準は、指定都市の平均より高く、一定の見直しを行うべき

税収増加につなげるまちづくり・課税自主権の活用
ひととと企業に選ばれる戦略的なまちづくり、また新税、超過課税等の課税自主権を積極的に活用するために、他都市の事例等も参考に検討すべき

地方交付税・府市協調
地方交付税の必要額確保に向けた国への効果的な要望を行うとともに、市民・府民サービス向上のため、一層京都府との議論を重ねるべき

万全な水際対策を

新型コロナウイルス感染症の発生、特に、海外からの変異株の流入に伴った影響が各方面で報告されており、京都市も多くの影響を被っている。そのような現状を踏まえ、自民党京都市会議員団は徹底した一層の「水際対策」が重要であると認識。そこで、我が会派の主導で、「入国における万全な水際対策を求める意見書」を提出し、全会派一致で、国に意見書を提出!!

入国における万全な水際対策を求める意見書

1. 入国時にPCR検査を実施のうえで、14日間は宿泊施設で待機をさせること。
2. 入国者を待機させるため、空港等に近い宿泊施設の確保に全力を尽くすこと。
3. 空港等に近い宿泊施設の確保が困難な場合でも、他の宿泊施設に移動し、14日間の待機が必ず実施されるよう、しっかりと確認を行うこと。

コロナワクチン接種に関して

7月末までに希望する全ての高齢者の接種を完了させるための取組

1 個別接種の拡充

協力医療機関を983にまで拡充
（令和3年6月1日現在）

2 集団接種の拡充

①区・支所ごとに設置する14会場での実施回数拡充
②平日における集団接種の新たな実施（イオンモールKYOTO・西陣織会館）
③京都工場保健会・京都予防医学センターによる集団接種を6月18日以降も継続
④週末（土・日）等における病院等での集団接種の実施

3 予約方法の変更

- 先着順を改め希望者全員の登録制とする

1 2 3 の取組により、7月末までに70万回を超える接種回数を確保

大切なワクチンを無駄にしない取組

接種予約のキャンセルが発生した場合

キャンセル発生時、下記の方に速やかに連絡できるよう、「あらかじめリストを作成する」「声掛けをしておく」などの取組を実施

医療機関	高齢者施設
● 翌日の接種予定者を繰り上げ ● 医療従事者への接種 ● 既に接種券をお持ちの高齢者に声をかけて接種 ● 接種券が交付されていない方に声をかけて接種	● 翌日の接種予定者を繰り上げ ● キャンセル等により端数となる人数の接種を後日に変更 ● 医療従事者への接種 ● 併設する事業所等の施設従事者への接種

それでもなお、ワクチンが余ってしまう場合には…

事前に作成したリストに基づき、地域で福祉活動等に携わる方や京都市の救急隊員、保健師、ケースワーカー、教職員等が医療機関に駆けつけて接種を受けます。

自民党京都市会議員団はこれらの取組の実現のため しっかりと提言を続けていきます！！

PRINTED WITH SOY INK 環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

ワクチンがコロナ対策の切り札

高齢者全員に7月中接種

宿泊・自宅療養者への的確なケア

●南区
椋田隆知 議員

■椋田隆知議員（質問）医療逼迫を招かないための体制構築と迅速なワクチン接種について、医療機関・関係団体との更なる連携強化が求められます。

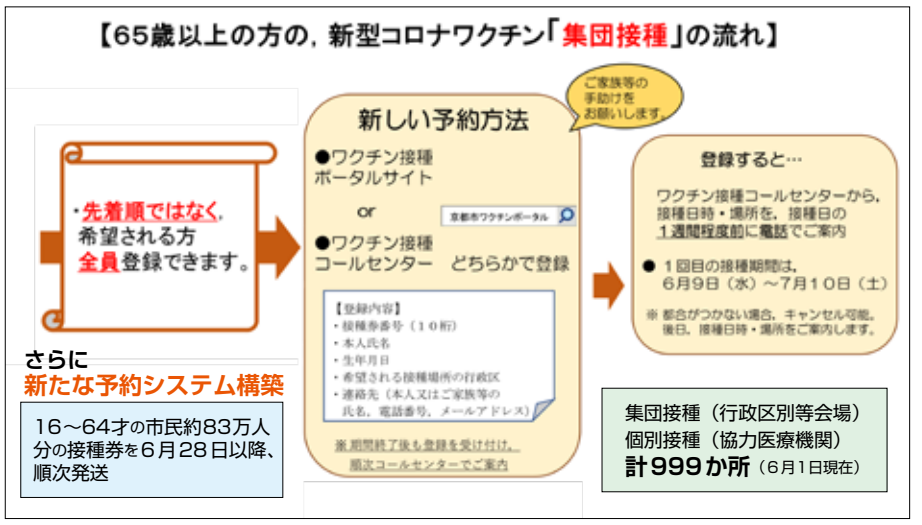
症状による入院ベッドの確保と宿泊・自宅療養の的確なマッチング。速やかなワクチン接種完了に向けた、確実な供給体制と打ち手の確保。ワクチンを無駄にしない取組の三点が重要です。

これらの確実なオペレーションについてご所見をお聞かせください。

■門川大作市長（答弁）府の入院コントロールセンターと市の保健所との連携を更に緊密にし、入院が直ちにできない場合は、宿泊療養施設の利用を徹底してまいります。やむをえず自宅療養となる方については、健康観察で連絡がつかない方の速やかな自宅訪問などの対応を徹底してまいります。

ワクチン接種については、65歳以上の希望される全ての高齢者への接種を7月中に確実に完了させます。そのため、京都府医師会等と連携し個別接種と集団接種の拡充を図り、本市が予約を受け付けるなど新たな仕組みを設け、負担軽減を図り支援してまいります。

ワクチンを無駄にしない対応は、各医療機関の取組に加え、地域で福祉活動等に携わる方等が駆け付ける仕組みを構築しております。速やかな接種の完了に向け、希望される全ての方への接種体制の構築にも全力を傾注してまいります。



子どもの育ち保障 衛生対策と省エネ

■椋田隆知議員（質問）保育体制維持のために医療機関での専門的対応と、感染状況に応じた対策の間違いのないガイドラインの裏付けが必要です。また保育室・園舎等の衛生対策には、空気感染の防止のため換気や空間除菌が必要です。子どもの育ちの保障のための更なる取組、並びに衛生対策と省エネを両立できる機器導入について、本市の現時点での考え方をお聞かせください。

■吉田良比呂副市長（答弁）今年度も実施する物品購入等の補助制度の中で、機器についてその効果も含め、対応を検討してまいります。ガイドライン等更なる取組については、感染力の強い変異株等を踏まえ、感染状況に応じた対策を徹底し、専門的知見や国の動き等を見極めつつ、検討してまいります。

●椋田隆知議員の質問項目●

1 新型コロナウイルス感染症による医療ひっ迫を招かないための体制構築とワクチン接種について
2 コロナ禍における保育について
3 コロナ禍を乗り越えるための文化芸術の力について
4 市バス車両内スペースの活用について
5 ジェンダーや働き方などの多様性の在り方について
6 消防体制の今後の在り方について

アフターコロナを見据えた市政運営!!

市民力、地域力の進化!!

京都の未来像の実現

●左京区
さくらい泰広 議員

■さくらい泰広議員（質問）コロナ禍により、パラダイムシフトがもたらされ、デジタル化やグローバル化の取組など、時代の変化への対応も着実に進めていかなければなりません。しかし同時に、本市がこれまで大切にしてきた人と人との絆の証である市民力、地域力をどのように位置付け進化させていくのか、今は明治維新と同じく、未来への黎明にあるものと前向きにとらえ、アフターコロナを見据えた市政運営についての市長の決意を伺います。

■門川大作市長（答弁）ICTを活用した地域コミュニティの活性化、新しい生活スタイルに対応した多様な働き方・学び方を一層進め、京都の最大の強みである市民力・地域力が更に活かされるまちづくりを前進させてまいります。まずは目の前の大きな危機を全力で乗り越え、基本計画に掲げた京都の未来像の実現を目指し、そのために市民の皆様とともに取り組む決意です。

●さくらい泰広議員の質問項目●

1 アフターコロナを見据えた市政運営について
2 災害に強い森林整備の取組について
3 橋りょうの防災・減災対策について
4 学校教育の今後の展望について
5 山間地域等における学童クラブの機能確保について
6 地下鉄国際会館駅前整備について（要望）

山間地域の学童クラブの在り方について

■さくらい泰広議員（質問）様々な既存資源を活用しながら、速やかに全小学校区での学童クラブ設置の取組を進めていく必要があります。特に山間地域においては、これまで学童クラブの整備が遅れていました。学童クラブ未設置学区、特に過疎化、少子化対策にも寄与する山間地域の学童クラブの機能確保についての考えを伺います。

■門川大作市長（答弁）左京区をはじめとした山間地域においてもニーズが見込める場合、既存の社会資源も生かしながら、積極的に学童クラブ機能の確保に取り組んでまいります。

岩倉地域の課題、地下鉄国際会館駅前整備

■さくらい泰広議員（要望）私の地元岩倉地域の長年の懸案である地下鉄国際会館駅前の一般車両の駐停車場所の整備について、昨年の11月、岩倉南学区、岩倉北学区、明徳学区の自治会長さんがご来庁され、建設局の担当局長に対し、門川市長宛の要望書を提出され、私も同席しました。本市も要望している国立京都国際会館の整備計画が進められており、その計画とも歩調を合わせた地下鉄国際会館駅前の総合的な整備を是非実現していただくことを強く要望します。

整備が求められている地下鉄国際会館駅前

PRINTED WITH SOY INK 環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

【代表質問】5月市会（5月21日）

特別の財源に頼らぬ財政運営を

問われる財政改革の中身

行財政改革について

●東山区
平山たかお 議員

■平山たかお議員（質問）今年度の改革額とする215億円の財源捻出に関し、行政が示した「改革」の中身では市民理解は得られず、市長の危機感はその程度のものかと懸念します。今後は誠実な説明を求めます。今後、「特別の財源対策」に頼らない財政運営に努めるべきですが、財政再建の道筋である「行財政改革計画」とは、どのようなものですか。従来の常識にとらわれない、大胆な発想で財政改革を実施すべきでありますが、いかがお考えですか。

■門川大作市長（答弁）行財政改革計画では、特別の財源対策のうち、公債償還基金の計画外の取崩しから令和15年度までに脱却する目標を掲げ、令和7年度に基金残高1000億円以上確保することを「必達目標」とします。そのために、今後、550人の職員削減による人件費の縮減や歳出上限の設定等のほか、新税・超過課税の活用の具体的検討も含め、あらゆる改革に取り組んでいきます。

●平山たかお議員の質問項目●

1 行財政改革計画（持続可能な行財政）について
2 経営健全化団体に陥ることがほぼ確実な地下鉄経営について
3 コロナ禍における京都経済への対策について
4 アフターコロナを見据えた新たな観光の在り方について
5 ごみ収集における業務の効率化と体制の拡充について

京都経済への対策について

■平山たかお議員（質問）自民党市議団が提案した「京都市中小企業等再起支援補助金」の申請件数が仮に多数となっても、必ず申請者全員の思いに応えられるようにすべきです。一方、それだけで決して十分ではなく、出来得る限りの支援策を講じ、「京都の事業者は必ず守る」との市長の強いメッセージに繋げるべきです。また、感染防止対策を真面目に講じている飲食店等には、営業時間の延長等のインセンティブを設けた上で、各種補助金や給付金は売上額や納税額に応じた施策とするなど、事業規模に関わらず、真面目に頑張っておられる方が報われる施策を構築すべきですが、いかがでしょうか。

■門川大作市長（答弁）自民党市議団からの提案を基に創設した中小企業等再起支援補助金が必要とされる全ての事業者に行き渡るよう、追加補正も含めてしっかりと対応します。また、平山議員ご指摘の通り、再起支援補助金の制度改正なども含め、あらゆる事業者支援策を検討します。真面目に取り組む事業者へのインセンティブ導入も他都市の事例も参考に検討し、メリハリのある支援策を講じます。

さらに　京都市会から国に要望

自民党主導で「事業者支援の一層の充実を求める意見書」を全会派一致で可決

第85代京都市会議長
田中　明秀

このたび、一三〇年を超える歴史と伝統ある京都市会の第85代議長に就任させていただくことになりました。身に余る光栄であり、その職責の重さに身の引き締まる思いです。

京都市は新型コロナ感染症対策とともに財政危機にも直面する中、何よりも市民の皆様のいのちと暮らし、安心・安全を守り、この難局を乗り越えるために、全力を傾注する決意を新たにしているところです。

世界の宝である京都を次世代に

私は平成19年に初当選をさせていただきましたが、以来、京都市政は京都市民のためにある、議員は「滅私奉公」を信条に活動してまいりました。市会の責務は、行政に対する監視機能や政策提案・立案機能などとともに、その活動を市民の皆様に早く、広く、正確にお伝えすることが重要です。今後議長としても「見える市会」「伝わる市会」の取組をより一層進めてまいります。

今日の京都を築いてこられた先人たちの弛まぬご努力と熱い思いを深く胸に刻み、世界の宝である京都を次世代に確実に継承していけるよう議長としての職務をしっかり果たしてまいります。

今後も皆様方の温かいご指導・ご支援をお願い申し上げます。

市政のリーダーシップ　自民党市会議員団

団長
橋村　芳和

副団長
みちはた弘之

代表幹事
津田　大三
寺田　一博

幹事
加藤　昌洋
平山たかお
井上よしひろ

政策委員長
田中たかのり

総務消防
田中たかのり
寺田　一博
しまもと京司
さくらい泰広

文化環境
井上よしひろ
橋村　芳和
山本　恵一
加藤　昌洋

教育福祉
森田　守
中村三之助
田中　明秀
吉井あきら
やまずまい子

まちづくり
豊田　恵美
繁　隆夫
津田　大三
下村あきら
みちはた弘之

産業交通水道
椋田　隆知
富　きくお
西村　義直
平山たかお

市会運営委員会
津田　大三◆
寺田　一博◆
加藤　昌洋
平山たかお
井上よしひろ

予算・決算特別委員会

第1分科会
しまもと京司
橋村　芳和
寺田　一博
山本　恵一
田中たかのり
加藤　昌洋
井上よしひろ

第2分科会
さくらい泰広
繁　隆夫
中村三之助
田中　明秀
下村あきら
みちはた弘之
森田　守
豊田　恵美

第3分科会
平山たかお
富　きくお
津田　大三
吉井あきら
西村　義直
椋田　隆知
やまずまい子

議長
田中　明秀

監査委員
吉井あきら

都市計画審議会委員
西村　義直
下村あきら
椋田　隆知
豊田　恵美

※赤字…委員長
※青字…副委員長
※◆…理事

PRINTED WITH SOY INK 環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

持続可能な行財政の確立に向けて

自由民主党市会議員団に聞きました

皆さんのご意見・ご要望をお寄せ下さい
〒604-8571 京都市中京区河原町御池
自民党京都市会議員団
jimin3@nifty.com FAX.257-3091

南区 **椋田　隆知**

市民が納得し共感が得られるよう目標と方向性を示すこと。受益者負担の適正化による持続化を目指し、安らかで明るい未来につながる施策であると、丁寧な説明を尽くすことが肝心。

南区 **しまもと京司**

議員活動10年来、私の市政報告でも継続して（それまで永年の負の巨額遺産であった）累積債務・削減取組み値を公開し続け、京都文化や芸術等も産業化等、経済・税収増策を強力推進！

右京区 **田中たかのり**

市職員が、いまの危機感を共有し、当たり前を見直すことで財政コストを縮減するとともに、税以外の財源確保（クラウドファウンディング・ICO）にも積極的にも取り組まなければならない。

右京区 **森田　守**

今日に至るまでの京都市の行財政改革の取り組みは十分とは言えません。市会においても強い決意をもって、ゼロベースで独自施策の見直しを求め、将来世代への負担の先送りを防ぎます。

右京区 **井上よしひろ**

「子育て世代や若年層が住みやすいまちづくり」「京都の強みを活かした魅力ある経済の再生と構築」が特に重要であり、アフターコロナを見据えた長期的な視点での改革が求められている。

西京区 **田中　明秀**

入湯税や宿泊税に続く税収増と、市民にしっかり説明した上での本市独自の施策の見直しや人件費等の歳出削減に取り組む。また減少が続く地方交付税について我々が更に声をあげていく。

西京区 **西村　義直**

永遠の課題ですが、自然災害や新型コロナ感染症などから市民生活を守るための政策や予算については、厳しくとも確保できるよう国や府などとも連携できる仕組みの構築を目指します。

伏見区 **繁　隆夫**

行政のデジタル化、組織のスリム化や事務事業の見直しによる業務量の削減・業務量の効率化等積極的に取り組み、財源確保対策として保有資産の活用、未利用資産の売却・貸付に努めること。

伏見区 **橋村　芳和**

伏見港が国交省の港オアシスに登録（内陸部の港では唯一）。観光は京都市の大切な産業。経済的効果も高い。アフターコロナを見据えた観光の分散化や新たな資源の発信の更なる推進を。

伏見区 **みちはた弘之**

着実な行財政改革を推し進め、安心・安全で将来に希望が持てるような改革を進めなければなりません。伝統・魅力を強みとし、確実な未来像が示せるよう更なる改革に邁進していきます。

北区 **山本　恵一**

将来世代に負担を転嫁させることは絶対に避けなければならない。歳入歳出の両面から、収支バランスの不均衡を徹底的に見直し、今と未来に責任を持ち、しっかりと議論をしていきます。

上京区 **中村三之助**

市民の命と暮らしを守る持続可能な行財政の確立に向けての取組は、現コロナ危機と財政危機の2つの危機を克服しなければなりません。叡智を結集し総力を上げ成長戦略の構築が肝要です。

上京区 **寺田　一博**

「できることは全て実行！」その思いを全庁で共有し、市民の皆さんに分かりやすい情報発信を行い、実現可能な改革によって次世代へ安心安全な街を受け継ぐことができるよう尽力します。

左京区 **さくらい泰広**

アフターコロナを見据え、あらゆる政策を見直して無駄を省く。同時に徹底して京都の強みを生かし、デジタル化の進展など新たな潮流もとらえて改革を断行し、持続可能な市政を確立。

左京区 **豊田　恵美**

収支の不均衡と将来世代への負担の先送りを解消し、中長期展望に基づく改革の推進が必要である。市民の皆様の生活を第一に、受益と負担のあり方を踏まえた財源の再配分を行いたい。

中京区 **津田　大三**

時代の変遷で、結果として収入を上回る市民への還元が常態化し、構造的な変革抜きでは、未来を担う子供達に課題を押し付ける事に。早期の脱却に向け、皆さんの納得いく改革を進めます。

中京区 **加藤　昌洋**

歳入・歳出のバランスがとれた財政運営が重要となります。これまでと違い、ゼロベースで財政を構築することで、未来に希望と責任を持った市政運営が行われるように議論してまいります。

東山区 **平山たかお**

行財政改革計画案も示されたが、財政の基本に立ち返り、従来の延長線ではなく、ゼロベースで総事業を点検。予算編成方法を見直し、市民の皆様にご理解頂ける「改革」を実施すべき。

山科区 **富　きくお**

ワクチン接種は始まったがコロナ禍の収束までは社会的弱者へ十分配慮しつつ、危機的財政状況を市民の皆さんにご理解頂き本市独自の施策も見直し、税収増加を図り現在・未来に責任を。

山科区 **吉井あきら**

予算編成にあたっては、市民福祉の向上を原則としつつ、持続可能な行財政の確立のため、まずは市民の皆様に丁寧な説明、情報発信に努め、ゼロからのスタートを切ることが大切です。

下京区 **下村あきら**

地域密着型の議員活動から様々な意見を伺っています。今京都に何が必要か？未来に向けて何をすべきか？京都市持続可能な行財政審議会の答申も踏まえ、京都らしい街づくりに頑張ります。

下京区 **やまずまい子**

更なる税収確保を目指し、定住人口増加促進や企業の積極的誘致が重要と考えます。厳しい財政状況下でも未来を見据えた効果的な投資を行い、京都市の魅力向上、発信に努めます。

PRINTED WITH SOY INK 環境にやさしい大豆油インキを使用しています。